

船橋市議会議員

千葉民主連合所属

みっはし

三橋さぶろう

議会活動報告



幼保無償化 対象拡大

新年あけましておめでとうございます。2020年も安心して生活できる船橋をさらに進めるため、市議会議員として全力で活動していきたいとおもいます。よろしくお願ひいたします。

さて、昨年の10月から消費税が引き上げられました。その増収分を財源に使い「3～5歳の全ての子ども」の教育と保育の無償化が実施されています。子育て支援や少子化対策として大いに期待されている制度ですが、いくつか問題があります。特に大きな問題点は以前から指摘（※1）していますが、国や自治体から支援を一切受けることができない無償化制度の対象外となる施設があることです。代表的な施設として「幼稚園類似施設」と呼ばれるものがあります。これは幼稚園と同様の教育を行っているが、敷地や園庭など国が定める設置基準を完全に満たすことができないため認可を受けられない施設です。「幼稚園類似施設」は基準に満たないからといっても教育内容に不足が生じているわけではありません。認可幼稚園と変わりなく幼児教育が行われており、

（※1=2019年8月26日発行議会活動報告）

（裏面に続く）

三橋さぶろう プロフィール

- 1978年 長野県木島平生まれ(41歳)
- 2002年 中央大学商学部卒業
株式会社カネボウ
江東区健康スポーツ公社
- 2008年 衆議院議員 野田佳彦秘書
- 2011年 衆議院議員 若井康彦公設秘書
- 2015年 船橋市議会議員選挙 初当選
- 2019年 2期目 当選 建設委員会
- 特 技: クロスカントリースキー
- 1998年長野オリンピックボランティアスタッフ
- 2002年ソルトレイクシティ・パラリンピック日本代表コーチ
- 船橋市消防団20分団2班 所属
- 好きな言葉: 出来ることからコツコツとやる
- 家族: 妻、息子(7歳)、娘(1歳)
- 趣味: 子どもと散歩
- 船橋市習志野台 在住

(表面から)

施設によっては特色豊かで手厚い教育・保育がなされています。「幼稚園類似施設」が基準を満たさないからと言って幼児教育・保育無償化の対象外とするのは合理性を欠き、子育て世代の負担軽減が図られず、子どもに格差が生じています。

船橋市内でも「幼稚園類似施設」が少なくとも2施設あることから、私は無償化制度が始まる前から改善に向けた取り組みをしてまいりました。具体的には幼稚園類似施設の現状把握のため、幾つかの施設を訪問し運営者と保護者から聞き取り調査を行い、「幼稚園類似施設」が幼児教育・保育無償化の対象にするよう要望書を作成し8,000以上の署名とともに国会に請願しました。また、船橋市長に対しては自治体から国に制度の変更を求めると共に、国がすぐに対応できない場合は船橋市が無償化と同等の支援を行うように要望書を直接渡して依頼してきました。

幼児教育・保育無償化制度の改善を求める活動については、幼稚園類似施設関係者からの支援のほか、船橋、習志野、八千代、千葉、市川、浦安の市議会議員、江戸川区議会議員、千葉県議会議員、参議院、衆議院の議員が所属政党や会派を超えて協力していただきました。その成果として昨年の12月20日に閣議決定された来年度予算では、国は自治体と協力し実態調査を行い、重要な役割を果たしていると認められる類似施設には活動支援費を支給する方針を決定。一人あたり月額7千円ほどの負担軽減につなげるため、必要経費として2億円を計上します。幼児教育・保育無償化の拡充と公平で平等な子育て支援を進めてまいります。

「三橋さぶろう市議会報告」ポスティング・ボランティア募集

ご自宅周辺等に、三橋さぶろう市議会報告をポスティングしてくださる方を募集しています。月に2回程度、無理のない範囲でお願いしています。ご協力いただける方のご連絡をお待ちしています。

ご意見やご要望をお寄せください。

〒274-0063 船橋市習志野台4-10-12 (新京成線習志野橋から徒歩4分)

電話：047-402-2810

FAX：050-3488-3190

E-mail: funabashi@mituhashisaburo.jp

三橋さぶろう まで

事務所にお越しの場合は、あらかじめご連絡いただくと助かります。